

会 議 録

会議名	平成26年度第1回市史編さん委員会会議
事務局	教育委員会生涯学習課
開催日時	平成26年5月26日(月) 午前10時～10時50分
開催場所	市役所第二庁舎801会議室
出席者	委員 出席(根岸委員長・小野副委員長・牛米委員・中嶋委員・林委員・井上委員・上原委員)以上7名
	欠席 山本委員
	事務局 石原課長・伊藤主事
傍聴の可否	◎可・不可・一部可
	傍聴者：なし
不可の理由	

会 議 次 第

事務局の人事異動について

1 報 告

- 1) 25年度の市史編さん委員会について
- 2) 25年度の部会活動について
- 3) 『小金井市史 資料編 近代』の発行について
- 4) 市史編纂資料第53編「下小金井村大久保家文書(近世編)」の発行について
- 5) 古文書調査について
- 6) 市民協力員等の活動について
- 7) 古文書講座について

2 議 題

- 1) 26年度の市史編さん事業計画について
 - (1) 市史編さん委員会(4回)
 - (2) 部会の活動
 - (3) 古文書調査
 - (4) 市史編纂資料第54編の発行
 - (5) その他

- 2) 第3回市史編さん委員会の日程について

平成26年 月 日()

会 議 内 容

(根岸委員長)

平成26年度第1回市史編さん会を開催する。

(石原課長)

4月1日付けの人事異動で、生涯学習課長兼文化財係長事務取扱に就任した。前任の天野同様よろしくお願ひしたい。同じく4月1日付けで新入職員の高木が文化財係に着任し、前任の倉澤が公民館に異動した。高木は、本日、東京都の玉川上水の現況調査に同行のため欠席している。次回に紹介する。

(根岸委員長)

事務局から報告事をお願いする。

(事務局：伊藤)

1) 25年度の市史編さん委員会について

25年度の市史編さん委員会は3回開催した。第1回は5月13日、第2回は10月21日(松平委員辞任より中嶋委員就任した)、第3回は2月17日(津幡教育長の辞任により山本教育長が就任した)である。

2) 25年度の部会活動について

(牛米委員)

25年度末までに近代資料編の刊行を目的に、編集作業を行ってきた。デジタル化された既存の編纂資料を使って便利ではあったが、資料が細分化されているため、後から見ると統合しなければならないものがあり、入稿後、差し替えが生じ、思いのほか校正に時間がかかった。

(中嶋委員)

25年度の部会の活動について報告する。調査員4名のところ、1名が辞任したため、26年度に補充した。部会活動の内容は、資料2のとおり。

小金井関係の空襲については、小山調査員がまとめたので報告する。詳細は資料3のとおり。

空襲に関する文献調査では、1945年1月27日に武蔵小金井駅付近線路に大型焼夷弾が落下したことと、1945年6月11日の多摩陸軍技術研究所の被害(軽微な機銃掃射)の2件の記録がある。

東京空襲との関係は、1944年11月から45年3月初旬までの第一期は、中島飛行機武蔵野製作所空襲のついでに小金井市域に数発の爆弾・焼夷弾が落下したものと考えられる。第二期は、東京大空襲の時期で、小金井では空襲警報のみで、実被害はなかった。第三期は、6月半ばから終戦までの八王子・立川空襲期にあたるが、小金井には大きな被害はなかった。また、機銃掃射については、公式記録にはないが、市民の回想や体験談には結構出てくる。今後、記録と記憶の問題を考えていかななくてはならない。これまで調査した小金井に関する空襲の記録は、資料集に載せたい。

(根岸委員長)

近世部会は、資料集の構成について、8章立てにしたいと考えている。本年度から調査活動を本格化させたい。

(事務局：伊藤)

3) 『小金井市史 資料編 近代』の発行について

近代部会は、近代資料編の発行を目的に、章立て、掲載資料の選択、解説の執筆を行い、年末までに原稿を確定し、年明けに印刷発注した。A5版、826頁・印刷部数500冊である。

4) 市史編纂資料第53編「下小金井村大久保家文書(近世編)」の発行について
『下小金井村大久保家文書(近世編)』(A4版、369頁)を200部印刷した。根岸委員長に筆写を依頼し、事務局で編集・校正した。昨年、近代編を発行し、大久保家文書の翻刻は終了した。

5) 古文書調査について

引き続き、梶野家文書の筆写を根岸先生に委託して実施した。

6) 市民協力員等の活動について

引き続き、畑野時夫さんが、明治期の詳細年表の作成と関連する個別調査を行った。成果を通史編の記述に役立てていただきたい。

7) 古文書講座について

3月15・22・29日の3回、中央大学教員の岩橋清美さんにより「幕末維新期の青物市場-青山久保町を中心に」をテーマで実施した。

(根岸委員長)

大久保家文書には、江戸時代前期の寛永期の年貢割付状が残っている。この時期に寛永の大飢饉があり、「不作」・「検見捨」・「付荒」等、村が疲弊していた状態を示す文言が見られる。貴重な資料である。最後の資料は、天然理心流の目録であり、幕末期に小金井村に近藤道場で剣術を習っていた人がいたことが分かる資料である。また、現在筆写中の梶野家文書は、量が多く、筆写に年数を要する。

2 議 題

(根岸委員長)

26年度の市史編さん事業計画について、事務局から説明願いたい。

(事務局：伊藤)

(1) 市史編さん委員会

3回開催

(2) 部会の活動

資料集の刊行を終えた近代部会は、通史編にむけ、月2回程度の調査活動を行う。現代部会は、27年度末の資料集刊行に向けて、月5回程度の調査活動を行う。近世部会は、月2回程度の調査活動を行う。

(牛米委員)

今後は、通史編の執筆に向け、自主的な調査や研究を進めるとともに、月 1 回、部会を開催していきたい。

(中嶋委員)

現代資料編のコンセプトは、「都市化」による住民生活の変容と「市民参加」とし、1937 年から 2000 年までを五章立てで構成する（資料 2）。

引き続き資料調査と資料選択を行っていきたい。選択した資料の入力は事務局にお願いしたい。

(事務局：伊藤)

入稿後、校正に時間がかかるため、少なくとも 27 年 10 月頃には入稿できるよう原稿の入力に全面協力する。

(3) 古文書調査

引き続き梶野家文書の筆写を実施する。

(4) 市史編纂資料第 54 編の発行

すでに筆写が終了している鴨下家文書（約 120 頁）と光明院文書（約 130 頁）を合わせて発行する。なお、m 鴨下家文書は根岸先生に筆写を委託、光明院文書は、「小金井古文書の会」の自主活動によって翻刻された成果である。

(根岸委員長)

今年度の事業計画について、質問はあるか。

(上原委員)

資料 1 の年次計画について、再確認したい。

(事務局)

改正前の資料を添付してしまったので、差し替えることにしたい。

2) 今年度の市史編さん委員会の日程について

第 1 回：平成 26 年 5 月 26 日（月）午前 10 時～12 時

第 2 回：平成 26 年 11 月 10 日（月）午前 10 時～12 時

第 3 回：平成 27 年 2 月 16 日（月）午前 10 時～12 時

(根岸委員長)

議事が終了したので、平成 26 年度第 1 回市史編さん委員会を終了する。

以 上

